

コラムでスタディ! No.39

“もしもの時の話し合い”



アドバンス・ケア・プランニング(ACP)=[人生会議]とは、

「人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス」と定義されています。

本人自身で意思決定できなくなる前に、今後の治療や療養について本人と家族・介護チームがあらかじめ話し合い、共有することを指します。

厚生労働省が人生会議のロゴマークを選定しました。

【ロゴマークの制作者】澤渡 和男 さん（東京都在住 医師）

【制作者コメント】

人生は、空に架かる虹であり、現在から未来への架け橋です。また、一筋の流れとして分水嶺に端を発し、大河となって大地を潤して海へと回帰する川の流れです。人生の流れと次代に継続させる力がデザインコンセプトです。



このメンバーの中に**薬剤師**もいます。

がん緩和ケアなどで、鎮痛を目的とした薬を用いる時、医療用麻薬、抗炎症薬などの用量、レスキュー薬、鎮痛補助薬、その他の緩和薬の処方について提案し、投与した患者さんと家族の方に服薬指導と服用後の副作用について説明し、不安を取り除いてあげることも薬剤師の仕事です。



そして**管理栄養士**は、「食べる」ことの大切さを、支えています。終末期になると「①通常の食事を続け、自然の成り行きに任せる」「②高栄養食に切り替え、できるだけ効率よく口から食べる」「③生命維持を最優先に考え、強制栄養(中心静脈栄養や、胃ろう等)を行う」など、栄養摂取方法を決める際に迷うことが多くあります。食事は単に栄養の補給ではなく、心を満たし、苦しみを和らげる力を持っています。どんな時もご本人とご家族がたどり着いた選択を尊重し、チームの力を合わせて、最後まで支援していきたいと思っています。



■お問い合わせ先

鏡野町保健福祉課 介護保険係 担当:和田 電話(0868)54-2986 FAX(0868)54-2891